

台湾における東北プロモーション事業

業務仕様書（案）

（一社）東北観光推進機構

仕様書

1. 事業名

台湾における東北プロモーション事業

2. 目的

「日本東北遊楽日」については、東日本大震災以降の台湾からの支援に感謝の意を表すとともに、東北の観光プロモーションを東北一丸となって実施することにより、台湾における東北の認知度向上と台湾から東北への旅行者の拡大を図る目的で、2014 年から継続して実施している。

上記イベントを筆頭に、台湾へのプロモーションを継続して実施した結果、東北 6 県および新潟県（以下、「東北 7 県」という。）への定期便の就航数について、2019 年 10 月時点で週 23 便まで拡大した。また、2019 年の台湾人宿泊者数は約 75 万人泊となり、同年の東北域内における全外国人宿泊者数 168 万人泊のうち約 4 割以上を台湾人が占める等、東北にとって最重要市場となっている。

東北における最重要市場である台湾からの誘客を促進するため、台湾における東北 P R イベント「日本東北遊楽日」及びセミナー・商談会・交流会を実施し、東北 7 県の魅力を強力に発信することで、台湾から東北を訪れる旅行者数の増加を目指す。

3. 委託金額

金 28,800,000 円（消費税及び地方消費税を含む）

なお、上記金額内で東北観光推進機構が指定する額で、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県、新潟インバウンド推進協議会、仙台市（以下、「連携自治体」という。）及び東北観光推進機構とそれぞれ契約の締結もしくは負担金の受取に係る手続きを行うこと。

4. 契約期間

契約日から 2024 年 2 月 28 日まで

5. 業務内容

（1）東北 P R イベント「日本東北遊楽日」の実施

（ア）実施概要

台湾市場の訪日リピーターや FIT 層、家族旅行層等をターゲットに、東北地域の特色ある魅力を訴求する東北 P R イベントを台北市で開催し、台湾における東北地域の認知度向上や東北地域への訪日旅行の促進を図る。イベント会場の選定・手配や会場の装飾・施工及び運営管理、イベント内容の企画、日本・台湾双方の出展者募集・調整に加え、イベント実施に係る事前告知やイベント誘客のための広告等を実施し、事業実施効果の最大化を図る。

（イ）基本方針

以下の方針に基づき、適切に対応すること。

- ① 本イベントは東北 7 県の関係者との連携が不可欠であることから、事業主体・連携自治体のほ

か、東北7県の自治体やDMO、民間事業者等と密接に連携すること。

- ② イベント名称は「日本東北遊楽日」を用いることとし、「東北地域の認知度向上」及び「東北地域への誘客」を意識したイベントとすること。
- ③ 東日本大震災における台湾から東北への支援に対する感謝を念頭に置いたイベントとすること。

(ウ) イベント会場

本イベントを実施するに当たり、以下の日程、規模で開催することとし、開催会場の提案を行うこと。また、イベント実施にあたっての各種調整を実施すること。

① 開催予定日

2023年12月9日（土）及び10日（日）（会場設営日等は含まない。）

② 開催会場

台北市内の展示会場、イベントスペース

③ 想定規模

1日当たり4.5万名程度の集客を見込める会場を想定し、1,500平米以上とすること。

④ 想定出展者数

30団体40小間程度（日本・台湾での合計）

⑤ 留意事項

- ・会場の提案にあたっては、会場選定に必要となる諸条件（施設概要、使用料、会場面積・収容人数・天井高等の施設規模、インターネット環境、アクセス、レギュレーション等）を明記すること。特にレギュレーションは、火器（調理用を想定）使用の有無や高さ制限、騒音制限等、イベント内容に影響するものは、詳細に記載すること。また、会場の写真やフロア図についてもあわせて提出すること。
- ・適切にイベントが運営できる規模の会場とすること。なお、会場が屋外施設を有する場合はその併用を妨げないが、荒天であっても適切に運営できる会場とすること。

(エ) イベント内容

① イベントテーマについて

- ・東北地域の観光コンテンツを網羅的に訴求するのではなく、消費者の関心を引くイベントテーマを設定すること。
- ・設定するイベントテーマは、ブース出展内容、会場装飾やイベント名称等にも反映させるよう出展者等と調整を行うこと。

② 会場レイアウトについて

- ・ブース間の回遊や会場内の混雑対応に配慮し、適切な感染症対策を実施したレイアウト設計とすること。
- ・事業提案時に会場レイアウト案を提示すること。

③ 会場装飾について

- ・東北一体となったプロモーションを図るため、「Treasureland Tohoku Japan」のロゴを各所に使用する等、東北の一体感を醸成できる装飾を行うこと。

④ イベント運営について

- ・出展者とは別に、視覚や聴覚に訴える情報発信に留まらず、東北 7 県の伝統文化や工芸体験等、五感や購買意欲を刺激するアトラクション・イベント等を実施すること。
- ・会場内で東北関連の旅行商品が販売されることを想定し、東北地域への送客につながるような内容とすること。

⑤ 特設ステージについて

- ・会場内には特設ステージを設置（大型スクリーン含む）すること。
- ・東北の認知度向上に繋がるような会場装飾を施すこと。
- ・東北地域にゆかりのあるステージアトラクションを東北 7 県へ呼びかけるなどし、広く募集すること。また、応募された内容を踏まえ、ステージアトラクションの全出演者のスケジュールを調整するとともに、当日の誘導等の対応を行うこと。

※出演者の出演料・渡航費・保険料等は全てオファー側（出展者）の負担とすること。

- ・ステージ周辺には、ステージ鑑賞スペースを設置すること。
- ・出演者の控室を別途確保するとともに、着ぐるみの着脱を行うための仕切りを用意すること。

⑥ オープニングセレモニーについて

- ・イベント初日の十分な集客が見込める時間帯に、東北地域及び台湾関係者が参加するオープニングセレモニーを実施すること。その際、日本及び台湾双方のセレモニー参加者の誘導等の対応を適切に行うこと。また、控室は「⑤特設ステージについて」で設置したスペースを活用すること。
- ・参加者や招待メディア等を事前にリスト化すること。なお、選定においては、事業主体と協議の上決定する。

⑦ 出展者募集等について

- ・ブース出展者（東北 7 県内の自治体、DMO、民間事業者、旅行会社、台湾側は現地の航空会社や旅行会社等）の募集・出展要件、募集フロー、物資運搬方法等を提案し、日本及び台湾にて出展者募集を行うこと。出展料は以下の通り設定すること。

(a) 連携自治体は 1 小間まで出展料を無償とし、出展名表示・壁面装飾・テーブル 1 台・椅子 2 脚・ブース内インターネット環境を含むブースの造作を行うこと。壁面装飾については、基本的なデザインを提案するとともに、画像データのリサイズ等の要望に対応すること。また、ブースの追加を希望する自治体向けに、壁面装飾込みで 1 小間 30 万円を上限に追加のブース出展料を設定すること。

(b) 日台路線を有する航空会社及び訪東北商品の取扱いがある旅行会社について、それぞれ 5 社程度の出展を募ること。各社 1 小間まで出展料を無償とし、出展名表示・テーブル 1 台・椅子 2 脚を含む基礎備品ブース設計とすること。また、出展の募集・決定にあたっては、各社に出展意向の他、旅行会社については東北の旅行商品の販売状況、日本東北遊楽日限定の商品造成・販売意向があるか等についてヒアリングを行い、集約結果を事業主体に提案すること。最終的には事業主体が報告内容を基に決定する。

(c) その他の出展者については、1 小間 40 万円を上限に出展料を設定し、出展名表示・テーブル 1 台・椅子 2 脚を含む基礎備品がついたブース設計とすること。ただし、ブース壁面装飾

に係る費用は含まれないものとし、希望する出展者は(d)で示すオプションにおいて申し込むこととする。また、小間数の追加を希望する場合についても同様に設定すること。

(d) 上記に加え、ブース設計に係るオプションを示し、出展者募集にあわせて募ること。

- ・ブースの壁面装飾などを行う際には、単に知名度のある観光地を並べるのではなく、直近の台湾における一般消費者のニーズなどを分析した上で出展者に提案し、且つ会場全体や出展エリアごとに一定の統一感が感じられるようなデザインとすること。
- ・ブース出展者から徴収する出展料については、本事業に係る委託金額の見積に加えて計上した上で事業内容を提案すること。
- ・イベント開催後には、日本・台湾双方の出展者向けアンケートを実施し、その結果を分析すること。

⑧ 協賛の募集について

- ・出展団体に向け、イベント開催に係る協賛の募集を行い、運営に係る費用の獲得に努めること。
- ・協賛金額や物品提供に応じ、各種広告物への協賛団体クレジットの掲載やイベント会場内で協賛団体のPRを図る仕組みを提案するとともに、募集を行うこと。

⑨ アンケート調査の実施・集計・分析について

- ・来場者を対象としたアンケート（500部程度、言語：繁体字）を東北観光推進機構のCRMシステム「TOHOKU Fan Club」を使用し実施すること。
- ・アンケート協力者に対するギブアウェイ（500個程度）を提案・手配すること。ギブアウェイは本イベント限定で入手できるものを作成し、来場のインセンティブとすること。
- ・アンケートの回答・回収に必要なものを準備すること。
- ・アンケート結果を集約し、翻訳・分析すること。

⑩ 旅行商品販売実績等の報告について

出展者が東北関連の旅行商品販売を行う場合は、販売実績や送客人数を把握する仕組みを構築し、事業主体に報告すること。なお、本事業は、東北7県に特化したものであることから、東北7県を含まない情報発信、商品販売は認めない。

⑪ 司会・通訳について

イベントの司会・通訳は、訪日促進イベントでの実績が豊富で、原則東北の観光に関する知識を持つ人物を選定すること。

(オ) 広告・宣伝について

以下の方針に基づき、イベントの広告宣伝・広報手法を「事前、開催中、事後（実施報告）」のフェーズに分けて提案し、事業主体と協議の上、実施すること。

- ① イベント来場者数の最大化を目的とし、ターゲット層に対して効果的な広告宣伝・広報施策を提案すること。台湾市場の特性や会場都市の地域性を踏まえた上で、最適な媒体、手法、実施時期、実施回数等を提案することとし、施策実施後はその効果や実績を分析すること。
- ② 事前に日系及び台湾現地メディアへプレスリリース等を行い、セレモニーやイベントの露出、宣伝や告知に繋がるよう働きかけを行うこと。また、日本語及び現地語に対応したメディア専門要員を配置し、取材申し込みの対応やイベント当日の対応を行うこと。

- ③ 台湾現地の日本に関連する施設や旅行博等と連携し、イベントの事前告知が可能な場合は、広告宣伝の企画提案に含めること。
- ④ 各県等が運営する SNS と連携した取組みを実施し、イベントの PR や開催中・開催後のフォロー獲得に繋げること。

(カ) その他

- ① イベント開催地でボランティアを活用する等、より効率的かつ効果的な運営に努めること。
- ② 出展者の募集及びとりまとめ、各種調整、資料輸送に関するとりまとめ、また共通装飾に関する調整等、日本・台湾の出展事務局としての窓口機能を担うこと。また、過去に出展経験の無い出展希望者については、事業主体及び連携主体に報告の上、必要に応じて信用等調査を行い、業務内容・実態を把握すること。
- ③ 東北地域の出展者が実施予定の誘客促進施策に対して、出展者及びその実施内容の決定後、可能なサポートを実施すること。
- ④ 日本側出展者がイベント内で物販を行うことができるよう、現地販売の調整を適切に行うこと。ただし、日本からの販売のための商品輸出等に関する手配の費用については出展者の負担とする。
- ⑤ イベントで現地スタッフ等を雇用する場合は、東北観光に係る知識を有する者や日本語にて意思疎通可能な者を優先して雇用すること。
- ⑥ ブース運営マニュアルを作成の上、出展者を含む関係者に配布すること。
- ⑦ 実施主体が提供する観光 P R 資料等の確保及び輸送（日本から台湾。20kg 以内×8 箱程度）を行うこと。
- ⑧ 連携自治体が提供する観光 P R 資料等の集約及び輸送（日本から台湾。1 自治体につき 20kg 以内×2 箱程度）を行うこと。追加での輸送を希望する自治体については別途費用を徴収し対応すること。
- ⑨ 東北観光推進機構の CRM システム「TOHOKU Fan Club」入会促進を行うこと。
- ⑩ イベント当日における管理・運営のため、日本もしくは台湾から必要な人員を確保すること。また、派遣に要する費用（交通費、宿泊費等）も見積もりに計上すること。
- ⑪ 事業実施に資する独自の提案などがある場合、あわせて提案すること。

(2) 東北観光セミナー・商談会の実施について

(ア) 日時・会場

- ① 開催予定日
2023 年 12 月 8 日（金）午後
- ② 開催会場
台北市内の会議室・レンタルスペース

(イ) 東北観光セミナー

- ① 台北の会議室等において、台湾現地の旅行会社やメディアに向けて東北の観光情報等を紹介する観光セミナーを 40 分程度実施すること。

- ② 航空会社、旅行会社、メディア関係者等台湾側参加者の募集に関する事項（参加者のリストアップ、案内状作成・送付、礼状の送付等）を実施すること。参加者数は 60 名程度を想定すること。
- ③ 会場の手配、設営、管理、装飾について
- ・会場は市内の中心部などアクセスの良い会場とし、選定理由を明確にして提案の上手配すること。
 - ・集客に適した時間帯や会場設営の準備時間を設定すること。なお、セミナーの所要時間は 40 分程度とする。
 - ・会場内の装飾を行うこと。また、看板等には「Treasureland TOHOKU JAPAN」のロゴを掲示すること。
 - ・会場は聞いた内容をメモが出来るテーブル付きの座席を準備すること。
 - ・プレゼン用のパソコン、プロジェクター、スクリーン、マイク、アンプ、スピーカー等の必要な機器を用意すること。
- ④ セミナーについて
- ・セミナーで使用するパワーポイント資料を作成し、連携先と調整の上決定すること。この際、観光素材や、近年新しくオープンした観光施設や宿泊施設といったコンテンツ、アクセス情報等を含めた、旅行商品造成や誘客の促進に資する内容を提案すること。
 - ・セミナー概要のプログラム（繁体字）を作成し、来場者に配布すること。
 - ・セミナーに係る資料は各会場の参加者に配布するにあたり必要十分な量を印刷すること。
 - ・セミナーの休憩時間等用にソフトドリンク及び地域固有のお菓子等の軽食を手配すること。
- ⑤ 運営要員の手配について
- ・司会兼通訳を 1 名配置すること。司会兼通訳は過去に観光セミナー等でプレゼンテーションを実施した実績があり、東北の情報発信に効果的な役割を果たすことができる者を選定すること。
 - ・受付 2 名及び通訳 2 名を配置すること。受付は、来客の受付・案内に加え、事務局側関係者のサポートができる人材を手配すること。
 - ・運営管理者を 1 名配置し、進捗状況の把握と円滑な会場運営を行うこと。
- ⑥ 事業の連携について
- ・台北で開催を予定している「日本東北遊楽日」と連携し、イベントに参画する旅行会社の商品販売のフォローや、イベント開催の周知など相乗効果を創出する取組みを行うこと。
- ⑦ 参加者へのフォローアップ
- ・事業実施後、セミナー当日に参加者から挙げた質問等について、必要に応じ後日速やかに質問及び回答を集約し参加者へのフィードバックの実施や、追加の情報提供等を行うなど、丁寧なフォローアップを行うこと。
- ⑧ その他
- ・事業実施に資する独自の提案などがある場合、あわせて提案すること。

(ウ) 商談会について

- ① (ア) の会場において、日本側参加者と現地旅行会社の商談会を 3 時間程度実施すること。
- ② 商談会は、セミナー会場内に椅子とテーブルを設け、各テーブルに参加者が着席し、現地旅行会社等のうち希望者がテーブルに着いて商談を行う形式とする。
- ③ 東北側参加者の募集を行い、参加者の取りまとめを行うこと。(1) 東北PRイベント出展団体は 3 万円を上限に、その他の者に対しては 5 万円を上限に参加料を募ること。ただし、連携自治体については参加費を無料とする。徴収する参加料については、本事業に係る委託金額の見積に加えて計上した上で事業内容を提案すること。
- ④ 通訳については日本側参加者が各自手配を行う。ただし、出展募集を行う際に希望を聴取し、希望があった場合には有料で手配を行うこと。

(エ) 交流会について

- ① 台湾現地旅行社等関係者と東北から台湾を訪問する関係者の関係構築と今後の相互交流の促進を目的に、2 時間程度交流会を開催すること。
- ② 日本側参加者 40 名程度・台湾側参加者 60 名程度の参加を目安に、招待などの手配を行うこと。
- ③ 日本側参加者の参加費は有料で設定し、徴収すること。
- ④ テーブルごとに 2 名程度通訳（日本語・中国語）を配置すること。
- ⑤ 台湾側参加者の参加費は、(イ) もしくは (ウ) の参加を条件に無料とすること。
- ⑥ 座席表の作成等、交流会の実施に向けた各種調整を行うこと。
- ⑦ 交流会の開催にあたり、参加者に提供する飲食の手配を行うこと。

6. 事業報告書に関する事

2024 年 2 月 28 日までに事業報告書を提出すること。

7. 事業効果の把握等に関する事

- (1) 本事業が誘客促進等につながったことを把握できる成果指標の設定を提案及び実施すること。
- (2) 日本東北遊楽日を契機とした東北への実来訪を計測もしくは推計しうる指標・手法を提案すること。

8. その他

- (1) 受託者は、委託者と締結した「業務委託契約書」の各条項を遵守し業務を遂行すること。
- (2) 受託者は、業務に要する機材および消耗品について準備すること。
- (3) 受託者は、業務の各段階において業務の遂行について随時報告を行い委託者の了解を得ること。
- (4) 受託者が業務を遂行する上で必要な資料等は、受託者において入手すること。
- (5) 委託者が委託金額を加算するなど、本契約の変更を必要と判断した際には、受託者と協議を行った上で、本契約の内容を変更することができる。

以上